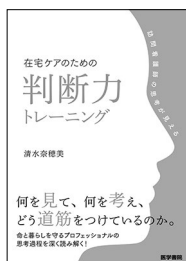


Books 今月の本 of the Month

在宅ケアのための判断力トレーニング
訪問看護師の思考が見える

著：清水奈穂美
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）

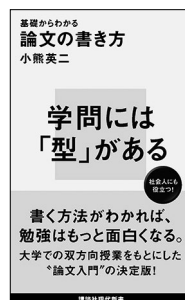
訪問看護師は、在宅医療の複雑な状況下で、何を見て、何を考え、どう道筋をつけてケアを組み立てるのか。そしてどう動き、何に備えるのか。最前線で命と暮らしを守る訪問看護師の思考のプロセス、最善策を導く意思決定の共有を読み解きながら、現場で求められる判断力を鍛えるトレーニングを伝授する。



基礎からわかる
論文の書き方（講談社現代新書）

著：小熊英二
発行：講談社
定価：1320 円（本体 1200 円＋税 10%）

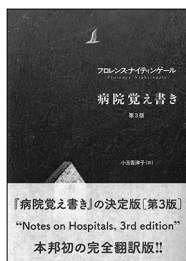
理系、文系の論文に精通した気鋭の社会学者が、学生と対話形式で行うアカデミック・ライティング（論文の書き方、研究の進め方など）の講義をもとに、分野を超えた共通の「論文の書き方」を解説した入門書。論理的な文章の書き方指導とは異なり、思考力、想像力を高め、科学的思考を駆使した論文作法を伝授する。



病院覚え書き 第3版

著：フロレンス・ナイティンゲール
訳：小玉香津子
発行：日本看護協会出版会
定価：3190 円（本体 2900 円＋税 10%）

『看護覚え書き』と並ぶナイティンゲールの代表著作『病院覚え書き』の決定版（原書第3版）を、日本で初めて完全翻訳した。戦地クリミアで英国軍病院の実態を目の当たりにし、病院環境の重要性に気づいたナイティンゲールが、病院の建築と管理についての理論を提示する。原書所収の病院建築図面や病院統計の表も掲載。



クロニックイルネスにおける
「言いづらさ」と実践領域モデル

編：黒江ゆり子
発行：みらい
定価：6050 円（本体 5500 円＋税 10%）

クロニックイルネス（慢性の病）とともにある人たちは、自分や家族の病について他者に話すことに「言いづらさ」を抱えている。ケアする中でそれに気づく看護職にもまた、「言いづらさ」「聴きづらさ」がある。両者への丁寧なインタビューから、どのような難しさがあるのかを明らかにし、支援のあり方を探る。

